材料（製品）安全データシート

製品の名称	：ウォーターフリー切断液		ページ	：	1/5
データ更新日	：2006年6月29日		発行日	：	2006年6月29日
製品名称番号	：M1203129		SDS-ID	：	US-D/5.0

1． 物質/製品と製造/販売会社

製品の名称 ：シリコンオイル
適用 ：切断液
容器のサイズ ：5リットル

データ製造者 ：ストルアス社
製造・販売会社 ：ストルアス社(StruersA/S)
Pederstrupvej 84, 2750 Ballerup, DENMARK (TEL：＋45-44600-800)
丸本ストルアス株式会社
〒110-0015 東京都台東区東上野1-18-6(TEL：03-5688-2930)

2. 成分の構成/情報

本製品は、鉱物油 及び 添加剤 を含有している。

薬品名	ECNo.	CAS No.	含有比 （%）	危険性の分類
基礎オイル - 明記なし。		-	60～100	
注記: なし。(*)				

3． 危険性の特定

本製品は、危険性の区分に分類されない。

人体 ：皮膚への脱脂作用がある。長期又は繰り返し付着すると、皮膚が赤く、痒くなり、炎症を起こし、湿疹/ひび割れそして水泡を引き起こす恐れがある。
環境 ：油漏れは、一般に環境に有害である。

4． 応急手当

吸入 ：患者を新鮮な空気のある場所に移し、安静にして観察する。油の煙霧を吸収して喉の刺激や咳がしつこく出る場合は、この指示書を持参して、医師の診断を受ける。
皮膚に付着 ：ただちに汚染された衣服を脱衣して、水と石鹸で皮膚を洗浄する。湿疹、傷や他の皮膚疾患がある場合は、この指示書を持参して、医師の診察を受ける。
眼球に飛散 ：ただちに大量の清浄水で15分間洗眼する。コンタクト・レンズは取り外して、まぶたを大きく開ける。炎症が治まらない場合は、この指示書と共に病院へ搬送する。
経口摂取 ：ただちに口内を洗浄して、大量の水を飲む。容態を観察する。悪心がある場合は、この指示書を持参して、医師の診察を受ける。無理に吐かせない。

5. 消火方法

消火剤	：小規模火災の場合は、二酸化炭素消火剤又は粉末消火剤で消火する。大規模火災の場合は、水煙で消火する。熱源に露出した容器を散水して冷却し、危険がないことを確認した後に、容器を安全な場所に移動する。
特定危険性	：火災中は、有毒ガス(CO、CO2)が発生する。他にも健康を害するガスが発生する恐れがある。
消防士の防御用具	：消火作業用呼吸装置については、作業場に提示された器具を使用する。

6. 偶発的漏洩時の対応

人身保護対策	：粉塵や気炎を吸引したり、皮膚に付着したり、眼球に飛散しないように注意する。人身保護器具については、第8項を参照する。
環境保護対策	：下水道、河川、土壌に排出してはならない。
清掃方法	：油吸収材で漏洩物を回収する。汚染された場所は油除去剤で清掃し、第13項にしたがって、廃棄物処理をする。

7. 取扱方法と保管方法

安全な取扱方法	：長期間、繰り返し油、特に使用済み油に触れない。常に石鹸と水、または皮膚洗浄剤で油を取り除き、有機溶剤は絶対に使用しない。油で汚れた衣服や靴を使用しない。油が染みたボロ布をポケットに入れない。労働衛生管理を遵守して励行する。
技術的対策	：可能な限り油に接触しない、あるいは油煙の発生を少なくする作業方法を採用する。
技術的注意	：加熱した油を使用する場合は、排気装置が必要となることもある。
安全保管の技術的対策	：特にない。
保管条件	：元の容器に密栓して保管する。酸化剤から遠ざける。

8. 被曝防止と人身保護

技術的対策 ：充分な換気を計る。業務上の被曝限界値を遵守して、粉塵吸入の危険性を抑制する。排気装置が必要となることもある。石鹸、皮膚線条剤及び油性クリーム等を備えた洗浄設備を作業場近くに置く。

化学物質の名称	被曝限界値	種別	注記	参考文献
油煙-無機性	5 mg/m^3	TWA	-	OSHA
油煙-無機性	5 mg/m^3	TWA	-	
	10 mg/m^3 (*)		15分 (*)	

人身保護 ：人身保護の機器は、CEN規格に従って、機器提供会社と共同で選定する。
呼吸装置 ：換気が不充分な時や油煙を吸入する恐れがある場合は、有機煙霧吸収缶付ガスマスクを着用する。(*)
手指保護 ：保護手袋を着用する。ニトリル手袋を推奨するが、液状の本製品は手袋を貫通するので頻繁に交換することを薦める。その他、製造会社の推奨する手袋も使用できる。
眼球保護 ：保護眼鏡又は顔面保護のフェイス・マスクを着用する。
安全衛生対策 ：作業終了後は、汚れた衣服を脱いで、石鹸と水で皮膚を充分に洗浄する。汚れた衣服は、洗濯してから再使用する。
環境被曝制御 ：空気汚染の抑制が必要である。

9. 物理化学的特性

外観 ：黄色の透明液
臭気 ：独特の臭い。
水素イオン指数 (pH) ：該当しない。
沸点 ：分からない。
引火点 ：170℃
爆燃性 ：分からない。
相対密度 ：0.83
溶解性 ：水に溶解しない。

10. 安定性と反応性

安定性 ：常温で安定している。
禁止条件/材料 ：強力酸化剤から遠ざける。
危険な分解性物質 ：特にない。

１１．毒物学的情報

使用済み油は、有害要素が増加する恐れがある。

吸入	：本製品を加熱して発生した油煙を吸入すると、喉及び呼吸器系に炎症を引き起こし、咳き込む恐れがある。
皮膚に付着	：皮膚への脱脂作用がある。長期間または繰り返し付着すると、皮膚が赤くなり、痒くなり、炎症を起こし、湿疹/ひび割れそして水泡を引き起こす恐れがある。
眼球に飛散	：炎症を引き起こす恐れがある。
経口摂取	：炎症を起こし、倦怠感を引き起こす恐れがある。
特定の影響	：長期間あるいは繰り返し使用済み油に触れていると、皮膚炎のような重い皮膚疾患を引き起こす恐れがある。(*)

(*)

１２．生態学的情報

移動性	：本製品は水に溶解しない、不揮発性である。
分解性	：本製品は、徐々に生物学的分解を始める。
生態系有毒性	：油が漏れると大体の場合環境に有害である。
体間蓄積の可能性	：体間蓄積に関するデータはない。
その他の有害事項	：事例なし。

１３．廃棄方法

廃棄物や残留物を処分する場合は、地元監督官との協定に従う。

残留廃棄物	：EWC コード：16 05 09 (*)

１４．搬送方法

本製品は、危険物の搬送に関する国際規格(IMDG、IATA、ADR/RID)の対象ではない。

１５．法的規制

ラベル表示　：製品の化学組成に関する製造業者の報告に基づいて評価を実施し、本製品には毒物の分類やラベルの表示が義務づけられていないことを確認した。(*)

全国防火協会（NFPA） 評価　：人体影響度：3、引火性：2、反応性：0、その他：-

特記事項　：毒性物質規制法（TSCA）に記載。

法令法規　：ヨーロッパ/アメリカ合衆国：
本材料(製品)安全データシートは、欧州共同体規則にしたがって作成した。
1）許容限界値(2006年)は、アメリカ政府産業衛生管理者会議(ACGIH)による。(*)
2）アメリカ合衆国連邦規則集第29巻1910部：職業安全保健基準「大気汚染物質」。
(*)

１６．その他

ユーザは適正な作業手順に習熟し、本書の内容に精通していなければならない。
(*)
今回修正及び追加のあった項目　：第2、第8、第11、第13、第15 及び 第16項
(*)印　：今回変更した箇所

デンマーク毒物調査センター(DTC) 担当者承認（署名）：

危険用語解説：
R24/25　：皮膚に付着したとき及び飲み込んだとき有毒である。
R34　：火傷を引き起こす。

本データシートの内容は現時点で有効な情報であり、通常の使用条件で、同梱資料又は取扱説明書に記載する使用方法で適正に取り扱う限り、弊社が知り得る最も正確な情報である。本製品を定められていない目的に使用したり、他の製品又は他の使用方法と併用する場合は、ユーザが危険性に責任を負う。

デンマーク毒物調査センター（DTC）
Kogle Alle 2, DK-2970 Horsholm, Denmark (TEL:+45-4576-2055, FAX: +45-4576-2455)